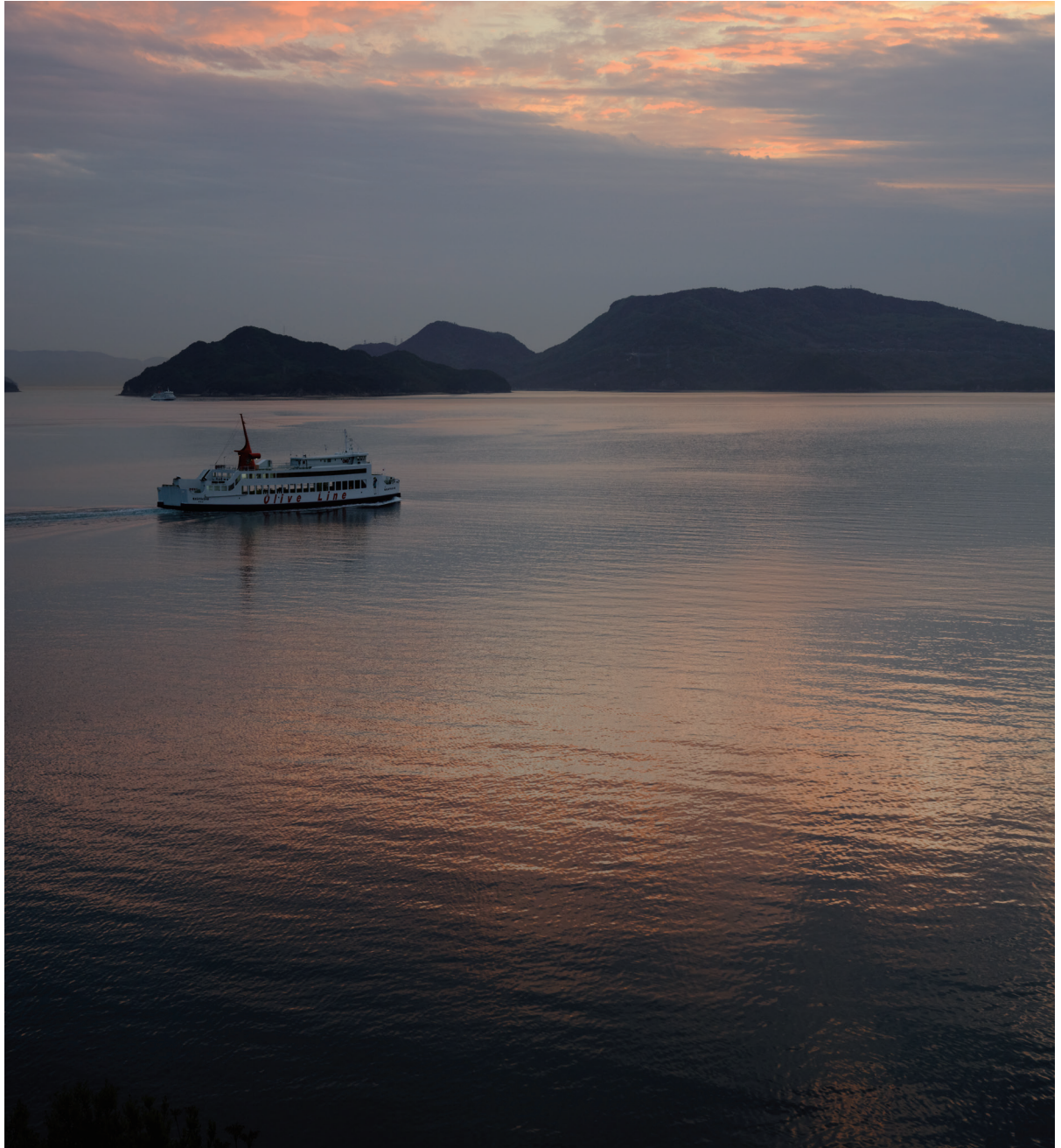


Poet Selector

moddict

PWS25-F6



Users Manual JP 1.02

Firmware V2

2026

Poet Selector

MS25-F6

LPF

HPF

ut Gain

sable

ss

Bit
Reduction

L Inv

Pan

R Inv



Index

Introduction	4
Digital Filter	6
Stereo Utility	7
Lo-Fi Processer	8
Analog Filter	9
Z Function	10
Z CV mode	11
Effect	12
Preset Selector	13

Introduction

What is Poet Selector?

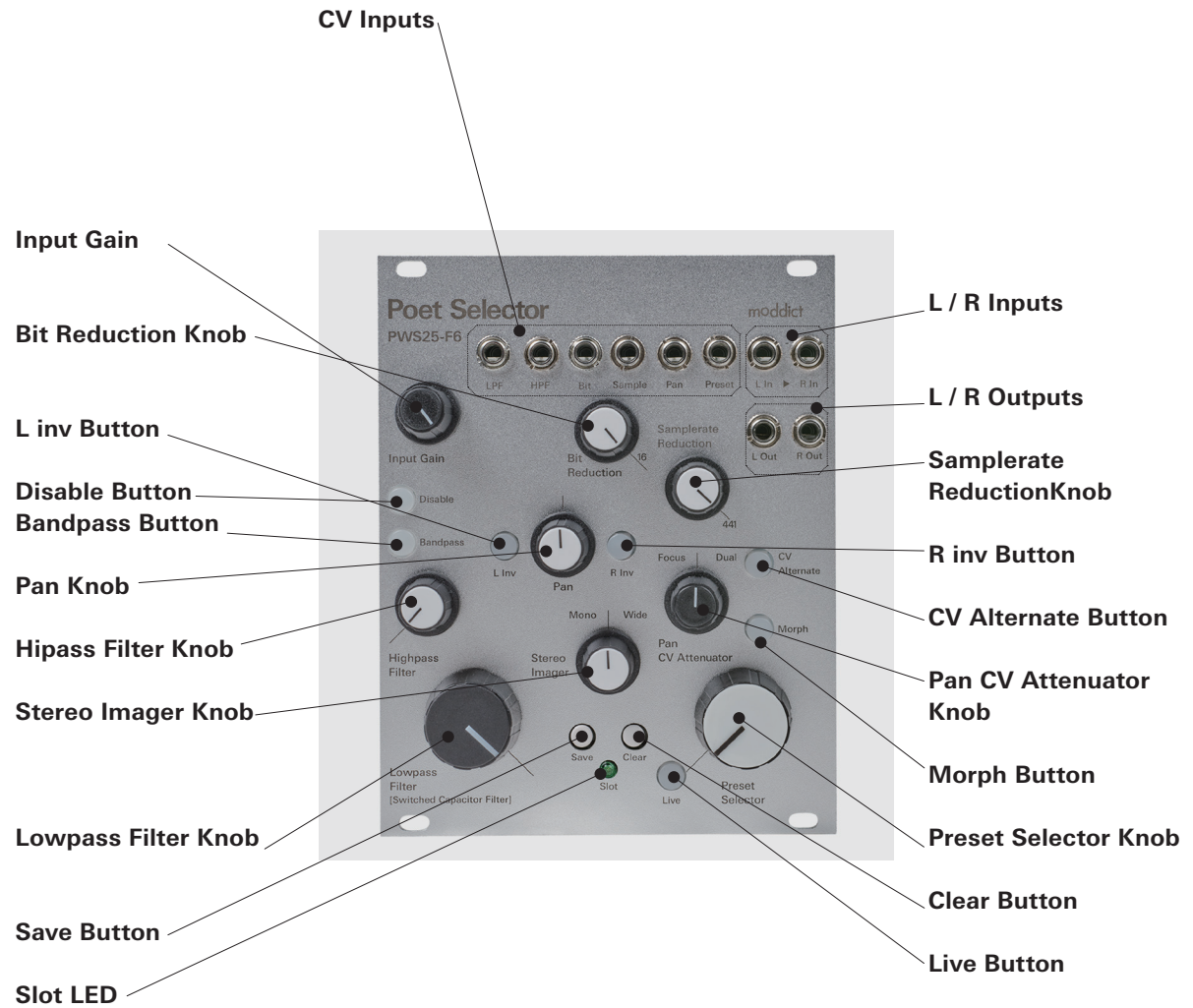
Poet Selector は Stereo Utility と Digital Filter、Lo-fi Processor からなるデジタルセクションと Akai S612 に搭載されていたアナログスイッチキャパシタモジュールを組み合わせたデジアナモジュールです。デジタルセクションは Knob を回すことで次々に読み込み&モーフィング可能な Preset Selector を搭載していることが一番の特徴です。

Firemware が V2 になりエンジンを 1 から見直し、8 つ Preset と Live mode を同時に処理することでスムーズで安定感のある morphing を実現しました。

また Freeze/Tapestop/Reverse/Scratch からなる Z Function、Phaser、アナログコンパンダ IC を使った Transient Shaper と多くの新機能を実装しました。

生まれ変わった Poet selector で様々な質感や音像をコントロールしていただけると幸いです！

Panel Layout



Digital Filter

Bandpass Button

Hipass / Bandpass / Allpass を順番に切り替えます。素早く2回押すと途中の状態をスキップする親切な機能があります。Hipass Filter Knob が共通のコントロールノブになりカットオフ周波数をコントロールします。

Highpass Filter mode

Bandpass ボタン消灯で Hipass Filter になります。カットオフ周波数より下の帯域をカットします。

Bandpass Filter mode

Bandpass ボタン点灯で Bandpass Filter になります。カットオフ周波数の周りを帯域を出力します。

Allpass Filter mode

Bandpass ボタン点滅で Allpass Filter になります。音量や周波数特性を変えずに位相をずらすフィルタです。カットオフ周波数の帯域をずらしします。

Disable Button

Digital Filter の有効 / 無効を切り替えます。DJ プレイのような展開を作りたい時に。
LED 点灯: 無効化
LED 消灯: 有効化



HPF CV Input

Digital Filter 用の CV インプットです。電圧レンジは± 5V で Highpass Filter Knob に加算されます。



Stereo Utility

Pan Knob

ステレオパンポットです。厳密にセンターに戻さなくてもセンターと認識してくれる親切な設計がしてあります。

L inv / R inv Button

L/R の信号を反転させることができます。
Stereo Imager や Allpass フィルター、Preset を組み合わせて多彩な音像を作り出すことができます。



Pan CV Attenuator Knob

PAN CV Input に対応したアッテネーターです。
Focus 側に回すと現在の状態に、Dual の方に回すと次のプリセットにも PAN CV を送ります。

CV Alternate Button

押すと点灯し、Pan CV を Dual に設定すると反転した Pan を送ります。パネル状態やプリセットの間で実行すると左右交互に入れ替わる Ping Pong Pan になります。

PAN CV Input

PAN 用の CV インプットです。
電圧レンジは $\pm 5V$ でマイナス側が L プラス側が R になります。
Pan ポットに加算されます。

Stereo Imager Knob

Wide 側でステレオの音像が広がり、Mono 側ではモノラルになります。V2 Firmware でアルゴリズムが変わりより自然な広がり方になりました。

Lo-Fi Processor

Bit Reduction Knob

16~4Bit までビットを落とすことができます。
小さい音から順にかかるので Input Gain や Samplerate Reduction と組み合わせてかかり具合を調整できます。
右に回し切ると原音と変化がない状態になります。



Samplerate Reduction Knob

44100 ~ 400 までサンプルレートを落とします。
ギラついた音になります。
右に回し切ると原音と変化がない状態になります。

Bit / Sample CV input

Bit /Samplerate Reduction の± 5V CV インプットです。
プラス側の電圧が入るとビット / サンプルレートが落ちていきます。それぞれのノブに加算されます。



Analog Filter

Lowpass Filter

Akai S612 で使われていたアナログスイッチドキャパシタフィルタをステレオで搭載しています。カットオフで左に回すほどカットオフ周波数が低くなります。

LPF CV input

Lowpass Filter 用の $\pm 5V$ CV インプットです。
Lowpass Filter Knob に加算されます。



Z Function

Z Function

CV Alternate とのボタンコンボで下記のモードに入ります。

CV Alternate + Disable = Freeze [Disable 点滅]

CV Alternate + L inv = Tapestop [L inv 点滅]

CV Alternate + R inv = Reverse [R inv 点滅]

CV Alternate + Live = Scratch [Live 点滅]

ボタンコンボは短く押すとモードが維持されるオルタネイトになり、もう一度同じボタンコンボで通常モードに戻ります。ボタンコンボを長く押すと押している間モードが有効なモーメンタリになり、離すとキャンセルして通常モードに戻ります。

モード中に違うコンボを押すと現在のモードをキャンセルして新しいモードに移ります。

モード中は Pan CV Attenuator Knob が Z Knob になります。

Z Knob は Z Function の共通ノブとして動作します。

Pan CV Attenuator / Z Knob どちらもモードが変わったあとノブを動かすまではそれぞれのモードでの最後のノブ値を維持します。モードを変える時に意図しない値に変えないための親切な設計です。

モード中もプリセットを含めた通常モード全ての機能が動作します。

Freeze

Freeze はモードに入ったタイミングでオーディオをループします。Z Knob の値が小さいほど長く大きいほど短い範囲をループします。一度モードに入るとオーディオをフリーズし Z Knob を変えても破綻せず再生できます。

Scratch

Scratch はモードに入ったあと Z Knob を動かすことでスクラッチができます。Z Knob を動かす速度がゆっくりなほど低いピッチ、速いほど高いピッチになります。左から右に動かすとフォワード、右から左に動かすとバックになります。

Tapestop

Tapestop はモードに入ったタイミングでテープやターンテーブルのようにピッチダウンしながら停止します。キャンセルすると入力された音に戻ります。Z Knob の値が小さいほどゆっくり、大きいほど急に停止します。停止中にキャンセルすることもできます。

Reverse

Reverse はモードに入ると逆再生します。Z Knob の値がセンターより小さいと等倍速でセンターより右になるに連れて慣性のついた速い逆再生になります。

Z Knob 事前セット

モードに入る前に CV Alternate を押しながら Pan CV Attenuator を動かすと Z Knob を事前に変えることができるぞ。

Z CV mode

Z CV mode

CV Alternate + Save で Z CV mode になります。
 mode 中 CV Alternate が点滅します。
 Pan CV Alternate が Z Knob 専用になります。
 Phaser、Transient Shaper は動作しますが mode に入ることはできません。

CV Input が下表に変更されます。

CV input	Z CV mode	Voltage Range
HPF	Stereoimager	± 5V
Bit	Freeze	0-5V (2.5V 以上で mode on)
Sample	Scratch	0-5V (2.5V 以上で mode on)

Freeze と Scratch は 2.5V 以上の信号で mode の ON/OFF が切り替わります。
 Tapestop は Pan CV の -2.5 以下で、Reverse は 2.5V 以上で mode の ON/OFF が切り替わります。
 CV Alternate ボタンを押すと LED が点灯かつ Z CV mode を示す短い点滅になり
 Tapestop と Reverse を入れ替えます。
 いずれのモードもボタンコンボと同じく短いとオルタネイト、長いとモーメンタリになります。
 すなわちトリガーかゲートかで動作を変えることができます。

Effect

Phaser

CV Alternate + Bandpass ボタンで Phaser mode になります。
Bandpass ボタンが点滅します。Bandpass/Allpass mode が有効な時は点灯 / 点滅に短い消灯により mode を示します。

Pan CV Attenuator が Phaser Knob として動作します。
Pan CV Attenuator や Z Knob と独立した値を保持し、設定した値に到達するまで値が変化しません。

Phaser Knob の値が大きくなるほどフィードバックが強く派手な効き方になります。
Phaser Knob の値が最小のときは Phaser が OFF になります。

Transient Shaper

S612 にも搭載されていたアナログコンパンダ IC を使った Transient Shaper が使えます。
CV Alternate + Morph で Transient Shaper mode になります。
Morph ボタンが点滅します。Morph ボタンが有効な時は点灯状態から短い消灯が入り mode を示します。
Pan CV Attenuator が TS Knob として動作します。
Pan CV Attenuator や Z Knob と独立した値を保持し、設定した値に到達するまで値が変化しません。

入力信号のピークを読み取り大きな信号が入った時に TS Knob の値に応じた長さの
ディケイ付きのゲートが発生します。

TS Knob の値が最小のとき Transient Shaper が一切かからない状態になります。
TS Knob が最小からセンターになるにつれてゲートのディケイが短くなります。
TS Knob がセンターから最大になるにつれてディケイがかかるまでの時間が短くなります。

ゲートが発生するシュレッシュホールドが固定のためソースをある程度選びますが
キックなど大きな音に反応するためハマればディケイを短くメリハリのある音に出来ます。

Preset Selector

Preset Selector

最大 8 つまで状態を Preset として保存し、Preset Selector で切り替え・モーフィングできる Poet Selector の象徴的な機能です。Preset Selector が最小のとき、Live mode になります。

Live mode は Preset を読み込まないパネルの状態を反映したモードで、Preset が一つも無い状態も Live モードになります。

Preset 対象機能	Preset 対象外機能
Digital Filter, Stereo Utility	Analog Filter, Scratch
Lo-Fi Proccesor, Freeze	Transient Shaper
Tapestop, Reverse	Pan CV Attenuator
Phaser Knob, Z Knob	各 CVinput

Save Button

Preset Selector を最小以外の位置で Save ボタンを押すと現在の状態が Preset が保存されます。Preset がある位置まで Preset Selector を動かすと Slot LED が点灯し保存した Preset 状態が読み込まれます。Slot LED が点灯した状態で Save ボタンを押すと Preset を上書きします。Freeze/Tapestop/Reverse は mode を有効にした状態で Save すると Preset に書き込まれます。

Clear Button

Preset Selector を Preset がある位置まで動かすと Slot LED が点灯し、その状態で Clear ボタンを押すと Preset が削除されます。Clear ボタンを 5 秒押し続けると全ての Preset が削除されます。

Live Button

Live Button を押すと点灯し、どの状態でも Live mode を読み込みます。もう一度 Live Button を押すと消灯し Preset Selector の位置に応じた状態に戻ります。



Morph Button

Morph Button を押すと点灯し Morph mode が有効になります。もう一度押すと消灯し Snap mode になります。Morph mode では Preset Selector の位置によって Live mode と Preset、または Preset 同士をモーフィングします。内部的に Preset 対象機能の Digital Filter (Highpass Filter Knob)、Stereo Imager、Bit Reduction、Sample Reduction は値がモーフィングされます。PAN、Bandpass/Allpass などフィルタ状態、L/R Inv はクロスフェードで表現されます。

Snap mode ではモーフィングされず、Preset Selector が Live/Preset の位置に来たタイミングで読み込まれます。Freeze/Tapestop/Reverse はモーフィングされず Live/Preset の位置に来たタイミングで mode が読み込まれます。Pan やフィルタなど異なる状態をモーフィングすることで様々な音像を作り出すことができます。

moddict